

年度 2008 学期 前・後	曜日・校時 水・4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	解放講座 On Social Leveling		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 総合科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 園田尚弘 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部本館4階 /TEL:095-819-2732 /オフィスアワー:e-mail anan@sings.jp Tel 095-847-8690			
担当教員(オムニバス科目等)	園田尚弘 藤澤秀雄 阿南重幸		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。 授業方法: 講義形式 授業到達目標: 講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業概要 人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、キリスト教・原爆・部落等の人権に係わるフィールドワークを行う。 授業内容 第1回 「解放講座」開設の意義について 第2回 世界及び国内における人権の歩み 第3回 部落問題と人権のいま 第4回 日本の部落問題 第5回 部落の歴史を再考する(1) 第6回 部落の歴史を再考する(2) 第7回 レポート報告会 第8回 日本の近代化とアイヌ問題 第9回 在日外国人の「国籍条項」 第10回 ハンセン病と差別 第11回 原爆・部落・キリシタン地域史の理解 第12回 フィールドワーク 第13回 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として 第14回 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として 第15回 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として ※ 藤澤担当 第1・2・13・14・15回 ※ 阿南担当 第3～12回			
キーワード	人権 体験 知識		
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等	定期試験の成績、レポート、出席状況を考慮して行う。 試験 50 レポート 50		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			